



海外工場建設のエキスパート

北米での工場施設の新規建設、既存拡張、増設など良きパートナーとしてお手伝いします！



FS業務支援

立地選定申請

設計エンジニアリング

調査

施工PM/CM

試運転

メンテナンス

インスペック グループ 日本支社

・141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-14 最勝ビル 9 階 3.5436.3500

・140 SW Arthur Street, Portland, OR 97201 USA +1.503.595.6540 (米国本社)

www.inspecgroup.com



Oregon—the

手厚い優遇制度

電力・水など安定供給

進出のサポートを担うプログラム（SIP）は、ビジネス・オレゴンには、巨額の設備投資負担となる固定資産税減免措置として同税の一部を15年間免除。さらに製造業に融資または税額控除を提供する州の事業インセンティブ税制度（税額控除（BETC））と、エネルギー効率、再生可能エネルギー生産および再生可能エネルギー製造のための融資プログラム「小規模エネルギー融資プログラム（SELP）」を用意する。

オレゴン州は工場やオフィスに重要な電力を安定かつ安価に供給する。ボンネビル水力発電ダムをはじめ、水や天然ガスなど自然エネルギーが豊富なため、電気は1キロワット当たり5セント、ガスは100立方メートル当たり5.46セント、水は100立方メートル当たり2.36セントとなっている。特に、水の純度が高いとされて、日本の生活がそのまま維持できる環境だ。

ビジネス・オレゴンの「コリン・シアーズ氏は、市場より低い金利で装置購入資金を融資するなどの、製造業に最良のオプションを提供できる。コスト面でも両隣のワシントン州とカリフォルニア州に比べて競争力が勝るとアピールする。

120超の日本企業がオレゴン州で成功を収めている理由に、質の高い米国人従業員を確保できるのはもちろん、日本から派遣された従業員とその家族にとって、住みやすい生活環境が挙げられる。それは治安が良いこと、住民が親日的という特徴。日常生活に目を向ければ、日本の食料や書店、日本語補習校などがある。オレゴン日本協会やポートランド日本人商工会などによる企業間同士の交流など、日本の生活がそのまま維持できる環境だ。

米国オレゴン州特集

米国オレゴン州政府 駐日代表部 〒105-0021 東京都港区東新橋2の16の1 phone 03・6430・0771

ポートランド日本人商工会



小林 秀夫会長

生活環境や教育など幅広くサポート

初めての海外進出は生活環境や学校教育など多くの不安な面を抱える。派遣された社員とその家族が安心して暮らせるように、ポートランド日本人商工会がサポートしている。正会員・賛助会員含めて約100社を束ねる同商工会の小林秀夫会長（国際セクション・イクイフメント・コーポレーション新製品事業開発ディレクター）に取り組みや進出を検討している中小企業へのアドバイスなどを語ってもらった。

ポートランド日本人商工会（日本語補習校）の運営は①日本企業から派遣された社員の子女教育②日系コミュニティと外部団体との文化交流活動③駐在員（メンバー）同士の交流を主な活動目的としている。ポートランド日本人学

中小企業の技術・製品 米国市場に広めて

海外転勤になると、子どもの教育に悩む。ポートランド日本人学校には幼稚園から高等部まで約350人が在籍する。校長を含む教職員20人で日本の教育方法と履修課程に沿った授業を行っている。年間授業日数は

が50日と米国の日本語補習校の中では最も多い。在籍した児童・生徒らは、ここで学んだことに自信を持ち、立派な卒業生になる。

オレゴン州は日本語を学ぶ米国人の生徒・学生が多い。地域交流では高校生と大学生を対象に、会員企業訪問の場を提供し、工場見学や仕事内容などの説明は日本語で行う。高校生には日本人家庭に半日ホームステイを実施。日本料理や遊びなどを体験することで、日本の生活習慣や文化を学ぶことができる人気の高い活動のひとつ。

進出に当たって米国でどのように生きていくかが大切。私も進出当初は大変苦労した。商工会には同じ経験をしたメンバーが多く集まっているので、ぜひ話を聞いてもらいたい。そして米国市場に中小企業の素晴らしい独自技術・製品をオレゴンの人と一緒に広めてほしい。我々もその活動を支えていきたい。（談）

インスペック グループ

北米を中心に生産施設建設を支援



プロジェクトマネジャー 廣田 哲也氏

インスペック グループは豊田太郎社長が2001年1月にポートランド市で起業した総合エンジニアリング企業。北米を中心に生産施設建設プロジェクトを支援している。創業以来、信頼と実績を積み重ね、現在では顧客の9割が米国に進出した日系企業で占める。そこで、インスペックグループの廣田哲也プロジェクトマネジャーに同社ならではの強みやオレゴン州の事業環境などについて聞いた。

「顧客の約9割がヤマサ醤油や味の素冷凍食品、東りにくい建設コストを見える化したのが特徴。見の原動力は何でしょうか。そ積みには各項目の値段を細かく明記することで、数字「オープンブック方式」を裏付けにもなる。例えば、採用している。これは分か抱えています。

「ポートランド市に本社、ジョージア州アトランタ市とアラバマ州ダイケータ市、東京に事務所を構えている。従業員はグループ全体で110人。この内、15人の日本人スタッフが在籍し、7人がプロジェクトの実務を担当している。日本語で設計仕様書やコスト、契約書の説明を受けることで安心感はある。初め、我々もお客さまのエンジニアリング部門の一員だという意識が芽生えてプロジェクト

「ポートランド市は環境対策を重視している。企業としてどのように貢献できるのかを考えた。太陽光パネルや空調機器メーカーなどの協業で、循環型の環境にやさしいプラントづくりも挙げられる。また、LEEDの資格を持った設計者もいる。彼らが環境に配慮した設計図の作製も低炭素社会への貢献につながっている」

「オレゴン州の事業環境は、西海岸に位置し、米国の中でも日本との地理的距離が近い。外国文化への受け入れも非常にオープン。こうした土壌が、オレゴン州政府による日系企業誘致への熱意につながっている。労働者のスキルも非常に高く、中小企業にとっても進出しやすい環境になっている。ポートランド日本人商工会もあり、「コミュニティ」に入りやすく、初めての海外進出でも安心してできる」

大自然に囲まれたこの美しい街へ、ノンストップの空の旅。

北米200以上の都市への玄関口、オレゴン州ポートランド。しかしここには一度降りたらずっと滞在したくなる不思議な魅力があります。「ツリーシティ」と呼ばれる街のコーヒースhopでゆっくりしたり、カスケード山脈でのトレッキングを楽しんだり。デルタ航空だけが、この美しい街ポートランドと成田をノンストップで結んでいます。6大陸約300都市のネットワークを持つグローバルな航空会社として。私たちは、北米各地へ快適な旅をお約束します。

DELTA.COM



KEEP CLIMBING

DELTA